

令和7年度 第2回 学校運営協議会

日時	令和7年10月2日(木) 13時30分～15:10分
場所	玉城小学校 地域連携室
出席者	委員6名 吉田剛、金城道年、崎原盛博、知念俊也、中村正賢 オブザーバー(4名) 教育指導課 教育部 参事 中上 郁夫 沖縄県 CS アドバイザー 入江 優子 南城市 CS コーディネーター 仲宗根 みゆき 玉城地区コーディネーター 國吉 美月

会議内容

<議題など>

学校経営・運営の進捗状況について

【報告事項】

1. 令和7年度 学校運営状況について
2. いじめ・不登校の改善に向けて
3. 学校安全対策について
4. 教育環境の整備・維持に向けて
5. CS, 未来につながる「たまぐすく」の実践

【協議事項】

1. 持続可能な学校運営を目指して
2. 本校 PTA 活動を考える

<主な意見・決定事項等>

学校経営方針について・

【今年度重点】 1. 自立した学習者の育成 2. もくもく清掃の徹底 3. 地域と多様な交流
1 学期終了時点で調査→結果を2学期初めに全職員で確認

【職員振り返り結果】

1 自立した学習者の育成 意識できたか? 【平均 2.8】

○個別最適な学びの実践は? 【平均 2.6】

○協働的な学びの実践は? 【平均 3.2】

2 もくもく清掃の徹底 【平均 2.9】

→今後、一致団結し、声掛けが必要。

3 地域との多様な交流 【平均】

○計画できましたか?

夏休み前の段階・・・計画できていない

○実践できたか?

「できていない」が多い。実践できたのは1つの学年のみ。

2学期から3学期にかけて本格的に取り組んでいきたい。

- ◆本校の課題をどう進めてきたか。
- ◆いじめ・不登校・・・7月の学校だよりで思いやりの心、言葉の持つ力を児童や保護者向けに発信。お互いがポジティブになるような言葉を掛け合える関係づくりを心がけてきた。
そのために、教師・保護者・地域の人言葉が見本となることが必要。
→7月児童会がふわふわ言葉を推進してくれた。

- ◆子供の安全対策・・・
猛暑に対して→暑さ指数（機器導入し、暑い日は外での遊びを控える）
防犯に対して→警察から助言を頂き、入れないことが大切。玄関を常時閉めること。（登校後）
人権に対して→講師をお招きして、各学年実施

- ◆教育環境の維持
（変更点）PTA 作業→校内美化作業、日曜日→平日へ
花が少ないので各学年に割り当て名札をつけて、責任をもって取り組む。

CS 未来につながる「たまぐすく」実践
ま・・・4年(7月実施)「海人に出会う→海の恵み」
く・・・5年(9月実施)「玉城のよさを守るには」

【協議1、協議2】持続可能な学校運営を目指して ～「児童数の推移」「PTA 会員数の推移」から考える～

現在、本校の児童数はピーク時の約450人余りから、今後は緩やかな減少傾向に入ることが見込まれている。それに伴い、PTA 会員数も変化している。

PTA は本来「任意の団体」であるため、2024年度からは、入会の意思確認を開始。

これまで約315世帯→昨年度約253世帯→今年度約200世帯【PTA 世帯】→と減少。

こうした状況の中で、持続可能な学校運営をどう進めていけばよいのか。

【これから大切にしたいこと】

委員の皆様からは、次のような御意見が出されています。

- ・学校・家庭・地域が一体となって、子ども達を育てる視点が必要。
- ・運動会や学習発表会などの大きな行事を通して、活動の意義や目的を丁寧に伝えることが大切。
- ・保護者の皆様も、時間的・精神的な余裕が持ちにくい時代。無理のない関わり方を考える必要がある。
- ・PTA という形にこだわらず、その都度協力し合える仕組みを検討しても良いのではないかと。
- ・地域の方々と学校をつなぎ、「地域みんなで学校を育てる」意識づくりが重要。



次回開催予定 令和8年2月17日(木) 11:30～